

写真で綴る柳谷村史

わが村の半世紀

わが村の半世紀

写真で綴る柳谷村史

愛媛県柳谷村

愛媛県柳谷村

写真で綴る柳谷村史

わがよき時代の半世紀

*The half-century of my village.
Let's remember the history of Yanadani
by this photograph collection.*



柳谷村旗

*This flag was hoisted for 50 years.
This symbol remains in people's heart eternally.*

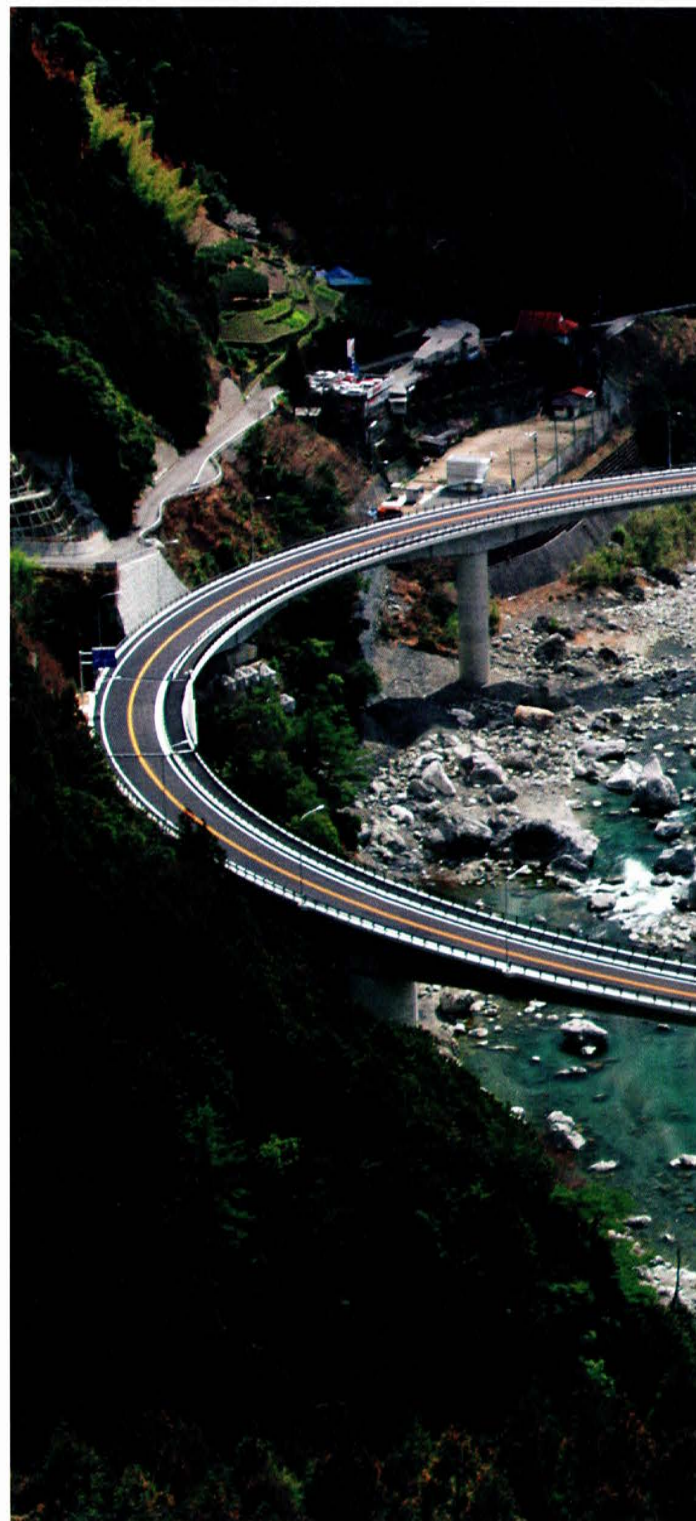


柳谷村庁舎



柳谷村

水と緑とふれあいの村



愛媛県と高知県の県境に位置し

日本三大カルストのひとつ

四国カルスト県立自然公園が村の南側に広がっています。

身も心もリフレッシュできる別天地。それが「わがふるさと柳谷村」です。

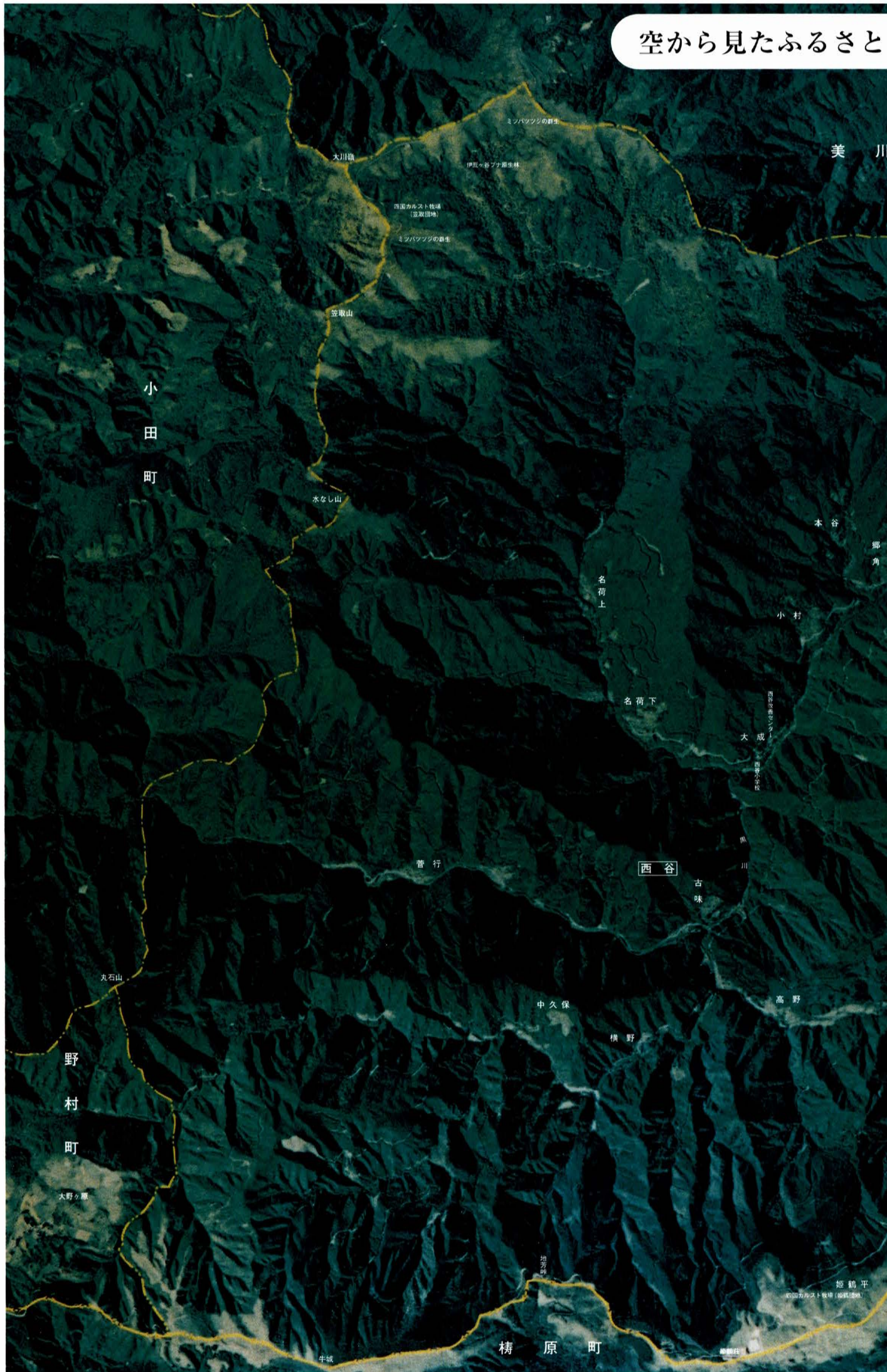


国道440号の起点両岸をつなぐループ橋



カルストの中で放牧牛はのんびりと草を食む





柳谷村



写真縮尺 約1:15,000
撮影年月日 平成15年10月3日
計画機関 柳谷村
作業機関 三和航測株式会社

The greeting of publication

発刊に当たって

柳谷村長 鶴井 國夫



美しい緑・清らかな水・そこに生きる心暖かい人々、幾十年の歳月を朝に夕に共に馴れ親しんできた「わがふるさと柳谷村」、昭和30年の大合併から数えて半世紀、村民すべての心の中に熱い想いを残して、この度の平成大合併により柳谷村としての歴史の幕を閉じることとなりました。

お互いが智慧をしぼり、力と汗を出し合って、懸命に築き上げ守り育ててきた柳谷村も、平成16年8月1日からは「久万高原町」として、久万町・面河村・美川村と柳谷村が合併し、新しく生まれ変わります。

この時に当たり、私達村民の心に深く焼き付いている、あの日・あの時のことがらを写した写真を集め、「わがふるさとの半世紀」写真集を発刊することといたしました。

50年と一口に言っても、お互いがたどってきた道は、平坦ばかりではありませんでした。30年代の基礎づくり、40年代・50年代と右肩上がりの経済成長に支えられ、豊かになった時代、60年代より平成になり過疎・高齢化・少子化の波に洗われるようになり、農林業の不況とあいまって、きびしい時代を迎えることになったふるさと柳谷村。

一枚一枚の写真の中ににじみこんでいる柳谷びとの生き様は、実に立派であると私は思っております。

村民が一丸となり、運命共同体としての柳谷村を、住みよく・明るく・健康な村につくり上げてきたお互いの心の中には、このままの柳谷村でいつまでもという願いのあることも十分に察しられます。しかし、合併と決した今は、この写真集から汲みとるいろいろな想いや事がらを、新しい町づくりに役立てていただきたいと念じるばかりであります。

どこまでも、私は柳谷村で生きてきたんだという誇りと自信を持って、新町づくりにがんばり抜いていく事が、お互いの幸せづくりへの一番の近道であると考えております。

この写真集が、いろいろの意味でお互いの絆を深め、忘れ得ぬふるさととして皆さんの胸の中に生き続けていくことを、心より願っております。

終わりにになりましたが、本写真集発刊にご尽力下さいました関係各位に深い感謝と心よりのお礼を申し上げ、柳谷びとのますますのご健勝ご発展を祈念して発刊に当たってのあいさつと致します。

平成16年3月吉日

Congratulation of publication

発刊のお祝い

柳谷村議会議長 横川 勇夫



この度写真で綴る「わがふるさとの半世紀」が発刊されましたことを心よりお祝い申し上げます。

昭和30年の大合併からすでに50年近い年月が流れ、今回平成の大合併で新しく、久万町・面河村・美川村と本村が合併し、今年8月1日より「久万高原町」が誕生することとなりました。時の流れをしみじみと感じるこのごろであります。

この間わがふるさとも大きな変化を遂げて参りました。汗と力をふりしぼって繁栄の基礎を築いた昭和30年代、林業景気に支えられ飛躍的な成長を見た40年代、かげりを見せはじめた50年代、柳谷の人口は大きく都市部へ流出し、過疎と少子化の波に洗われるようになりました。

バブルがはじけた60年代、平成と世が変わりましたが、構造的不況と林業の低迷、苦しい中に柳谷びとは、力を合わせ、智恵を出し新しい活力を生みだす方向を求めて村づくりに励んで参りました。

おかげで今日の柳谷があるのだと私は思っております。

この写真集が語りかけてくれる、いろいろ様々なことから、私達が自信と誇りをもって村づくりに取り組んできた証^{あかし}として、いつまでもお互いの心の中に残っていくものと考えます。

柳谷びとが昭和30年以後歩んできた半世紀の足跡は、実に大きなものであると私は思っております。本当に柳谷びとは勤勉であり、ねばり強かったと言えます。

この力をもって新町づくりに仲間の輪を広げ、がんばってほしいと願って止みません。

どこまでも夢と希望を失うことなく、自信と誇りをもってつき進んで参りましょう。

終わりにになりましたが、発刊にご尽力下さった方々に深い感謝とお礼を申し上げ、柳谷びとのますますのご健勝ご多幸を念じながらお祝いのことばといたします。

平成16年3月吉日



健康・長寿の拠点 柳谷さんさんドーム

目次

Table of contents

発刊のことば 柳谷村長 鶴井 國夫	8
<i>The greeting of publication</i>	
発刊のお祝い 柳谷村議長 横川 勇夫	9
<i>Congratulation of publication</i>	
第1章:自然・家並み	12
<i>Nature and Row of houses</i>	
第2章:生活	26
<i>The life of a village</i>	
第3章:行政・議会	44
<i>Politics is performed</i>	
第4章:道路	60
<i>The road of a village</i>	
第5章:イベント	70
<i>The event of a village</i>	
第6章:文化	88
<i>Culture of a village</i>	
第7章:観光	98
<i>Sightseeing spot</i>	
第8章:開発・設備	104
<i>Development and equipment</i>	
第9章:商工・農林業	122
<i>Commerce and industry Agricultural and forestry industries</i>	
第10章:教育	150
<i>Education of a village</i>	
幼児教育	152
青年教育	158
高齢者教育	166
公民館	172
第11章:婦人会活動	178
<i>Ladies' society activity</i>	
第12章:保健・福祉	188
<i>Health and welfare</i>	
第13章:災害	196
<i>A calamity and accident</i>	
柳谷村資料	207
<i>Data of Yanadani village</i>	
柳谷村年表	235
<i>History table of Yanadani village</i>	
編集を終えて 委員長 三本 一雄	324
<i>Postscript</i>	